

運用報告書 (全体版)

第13期<決算日 2019年11月21日>

**みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型)
米ドルコース**

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2013年7月31日から2023年7月14日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	円建て外国投資信託である「D I AMケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 米ドルクラス」の投資信託証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託である「D I AMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融資産等に直接投資する場合があります。
運用方法	円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的にわが国の株式に投資します。外国投資信託の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。外国投資信託においては、原則として円を売り予約し、米ドルを買い予約する為替取引を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日(原則として毎年5月21日および11月21日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース」は、2019年11月21日に第13期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）米ドルコース

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			東証株価指数		米ドル/円レート		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(TOPIX) (配当込み) (参考指数)	期中 騰落率	(参考)	期中 騰落率		
9期(2017年11月21日)	円 10,687	円 800	% 9.3	ポイント 2,574.33	% 14.1	円 112.66	% 1.0	% 96.0	百万円 4,570
10期(2018年5月21日)	10,905	400	5.8	2,665.56	3.5	111.09	△1.4	95.3	3,778
11期(2018年11月21日)	10,010	0	△8.2	2,399.27	△10.0	112.91	1.6	95.5	2,854
12期(2019年5月21日)	9,579	80	△3.5	2,333.08	△2.8	110.17	△2.4	95.6	2,618
13期(2019年11月21日)	10,092	0	5.4	2,573.11	10.3	108.42	△1.6	95.9	2,442

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（㈩東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈩東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈩東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈩東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません（以下同じ）。

(注3) 米ドル/円レート：対顧客電信売買相場仲値（以下同じ）。

(注4) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

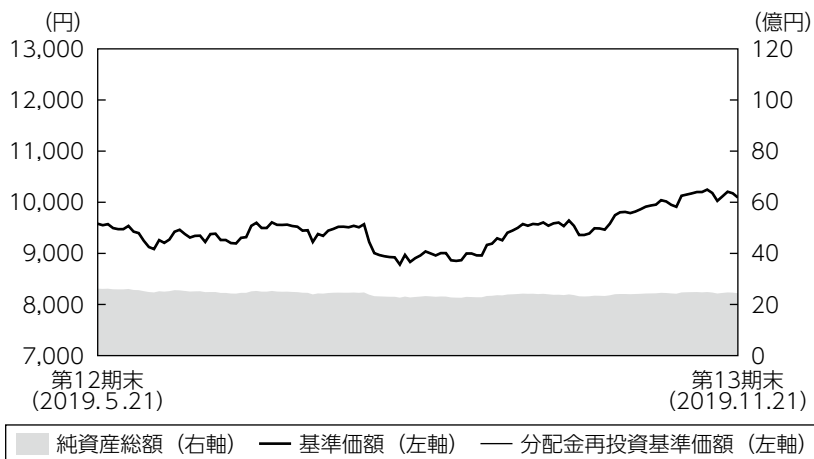
年月日	基準価額		東証株価指数		米ドル/円レート		投資信託 受益証券 組入比率
	騰落率		(TOPIX) (配当込み) (参考指数)	騰落率	(参考)	騰落率	
(期首) 2019年5月21日	円 9,579	% -	ポイント 2,333.08	% -	円 110.17	% -	% 95.6
5月末	9,397	△1.9	2,275.96	△2.4	109.36	△0.7	95.1
6月末	9,304	△2.9	2,338.89	0.2	107.79	△2.2	95.2
7月末	9,538	△0.4	2,360.18	1.2	108.64	△1.4	95.4
8月末	8,867	△7.4	2,280.58	△2.3	106.46	△3.4	95.4
9月末	9,602	0.2	2,418.29	3.7	107.92	△2.0	95.6
10月末	10,015	4.6	2,539.02	8.8	108.88	△1.2	96.0
(期末) 2019年11月21日	10,092	5.4	2,573.11	10.3	108.42	△1.6	95.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■当期の運用経過（2019年5月22日から2019年11月21日まで）

基準価額等の推移



第13期首： 9,579円
 第13期末： 10,092円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 5.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米ドルが円に対して下落したことはマイナスに寄与したものの、市場の不透明要因となっていた米中協議が部分的な合意に向けて前進したことや、製造業の企業業績が底打ちし改善に向かうとの見方が強まったことなどを背景に国内株式市場が上昇したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。なお、米国と日本との金利差から、円売り米ドル買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）を獲得したことはプラスに寄与しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 米ドルクラス	6.3%
D I A Mマネーマザーファンド	△0.0%

(注) D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 米ドルクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

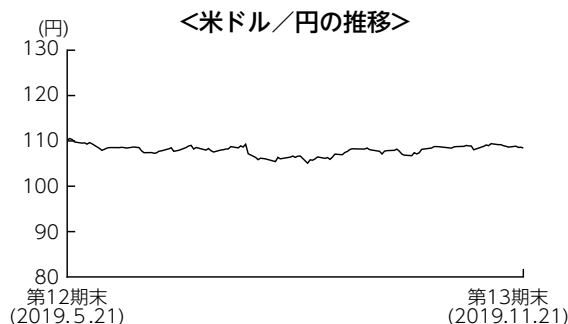
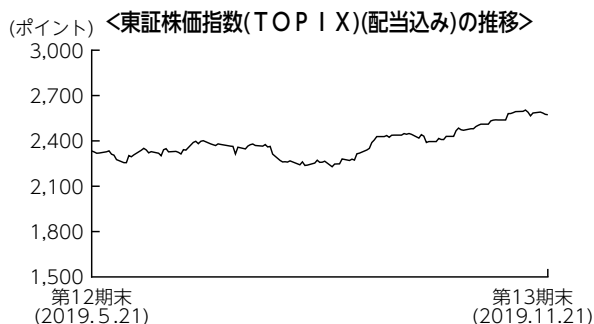
投資環境

国内株式市場は上昇しました。前期末から2019年8月にかけては、対立激化と融和を繰り返す米中協議の動向に一喜一憂する動きとなり、ボックス圏での推移となりました。2019年9月から当期末にかけては、米国が予防的な利下げを実施し金融市場を支えたことに加え、米中協議が部分的な合意に向けて前進したことから、ボックス圏を上抜けて上昇する展開となりました。

米国では、米中対立に伴う世界経済の先行き不透明感などを背景に、F R B（米連邦準備理事会）が2019年7月、9月、10月に相次いで利下げを実施したことから、為替市場では米ドルは円に対して下落しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは△0.3%台から△0.0%台のレンジで推移しました。F R Bは米中貿易問題の深刻化が米国景気に悪影響を与えるのではないかとの見方を強め、足元では再び金融緩和姿勢を強めています。そうした中、日銀は消費税増税の影響を見極めるため緩和的な金融政策を維持しています。そのため、3ヵ月物国庫短期証券利回りは小幅な動きとなりました。

【参考】



ポートフォリオについて

●当ファンド

D I A M ケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 米ドルクラス
の組入比率は、原則として高位を維持し、D I A M マネーマザーファンドへの投資も行いました。

●D I A M ケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 米ドルクラス

市場動向の変化に応じて機動的な運用を行いました。組入銘柄については、堅調な業績が期待できるグロース株
中心の構成を基本としましたが、2019年9月以降は、企業業績の底打ち期待が高まったことを受けて、景気敏感セ
クターなどのバリュー株の比率を高めました。株式組入比率については、株式市場の下落リスクが高まったと判断
した局面では引き下げるなど柔軟なコントロールを実施しました。

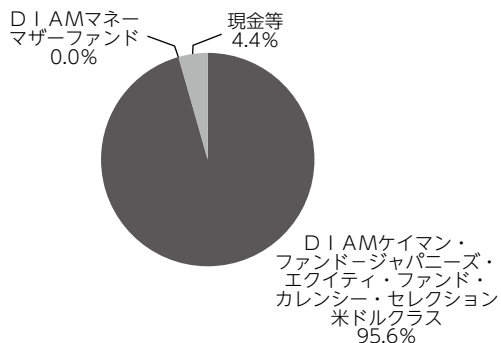
また、円を売り予約し、米ドルを買い予約する為替取引を行いました。

●D I A M マネーマザーファンド

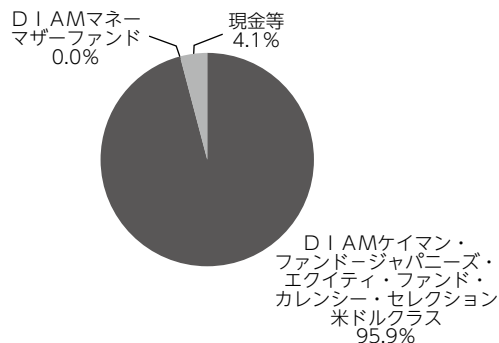
残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

期首 (前期末)

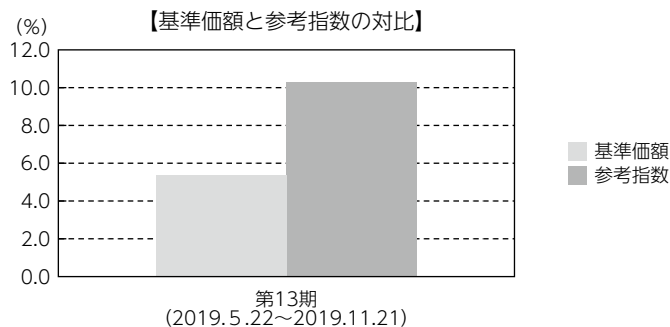


期末



参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数である東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年5月22日 ～2019年11月21日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,110円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I AMケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 米ドルクラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●D I AMケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション 米ドルクラス

当面の株式市場は、堅調な展開を予想します。米中関係は、政治問題であるため不透明さは残るものの、2020年11月の米国大統領選挙に向けて改善方向に向かうと予想しています。主要国の中央銀行による緩和的な金融政策、企業の自社株買いや日銀のETF（上場投資信託）買い入れによる需給面のサポートも継続すると見込まれます。

運用方針としては、海外要因や市場動向を見極めつつ株式組入比率、組入銘柄ともに機動的に調整する方針で臨みます。加えて、円を売り予約し、米ドルを買い予約する為替取引を行います。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想されています。今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用をめざしていきます。

■1万口当たりの費用明細

項目	第13期		項目の概要
	(2019年5月22日 ～2019年11月21日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	66円	0.693%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,459円です。
(投信会社)	(28)	(0.295)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(36)	(0.382)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	66	0.694	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

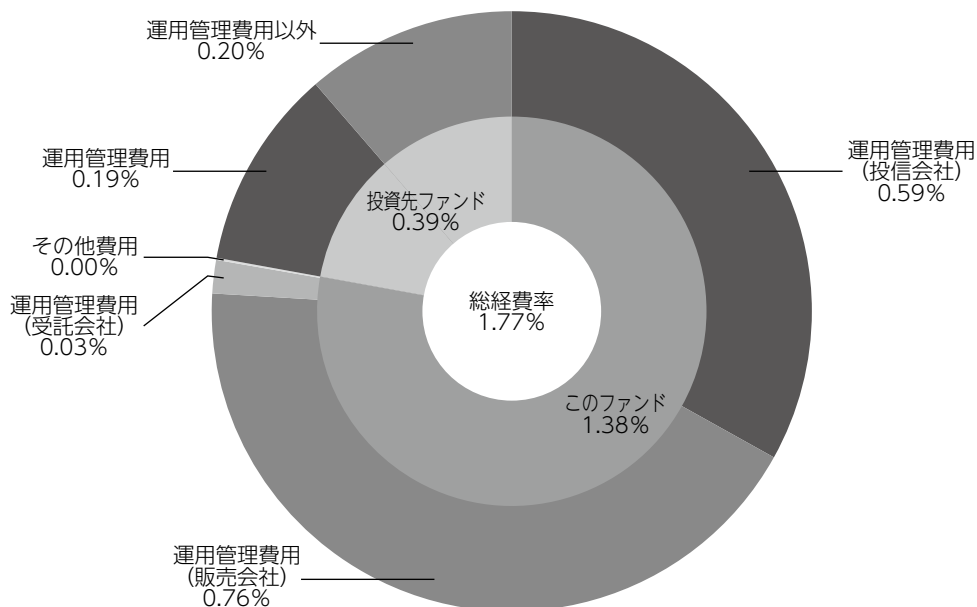
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率 (①+②+③)	1.77%
①このファンドの費用の比率	1.38%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2019年5月22日から2019年11月21日まで）
投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨建	DIAMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・ エクイティ・ファンド・カレンシー・ セレクション 米ドルクラス	千□ 0.281	千円 3,000	千□ 27.59484	千円 300,000

(注) 金額は受渡代金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2019年5月22日から2019年11月21日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■**利害関係人との取引状況等**（2019年5月22日から2019年11月21日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■**組入資産の明細**

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首(前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
DIAMケイマン・ファンド-ジャパニーズ・エクイティ・ ファンド・カレンシー・セレクション 米ドルクラス	千□ 228.74125	千□ 201.42741	千円 2,342,197	% 95.9
合 計	228.74125	201.42741	2,342,197	95.9

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	期 首 (前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 9	千□ 9	千円 10	

■投資信託財産の構成

2019年11月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,342,197	95.2
D I A M マネーマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	119,296	4.8
投資信託財産総額	2,461,504	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年11月21日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,461,504,117円
コール・ローン等	116,296,175
投資信託受益証券(評価額)	2,342,197,923
D I A M マネーマザーファンド(評価額)	10,019
未 収 入 金	3,000,000
(B) 負 債	19,033,159
未 払 解 約 金	2,187,214
未 払 信 託 報 酬	16,808,325
そ の 他 未 払 費 用	37,620
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,442,470,958
元 本	2,420,212,814
次 期 繰 越 損 益 金	22,258,144
(D) 受 益 権 総 口 数	2,420,212,814口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	10,092円

(注) 期首における元本額は2,734,106,796円、当期中における追加設定元本額は6,300,687円、同解約元本額は320,194,669円です。

■損益の状況

当期 自2019年5月22日 至2019年11月21日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△38,337円
受 取 利 息	2,491
支 払 利 息	△40,828
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	141,222,061
売 買 益	146,399,262
売 買 損	△5,177,201
(C) 信 託 報 酬 等	△16,845,945
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	124,337,779
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△390,504,968
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	288,425,333
(配 当 等 相 当 額)	(510,684,320)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△222,258,987)
(G) 合 計(D + E + F)	22,258,144
次 期 繰 越 損 益 金(G)	22,258,144
追 加 信 託 差 損 益 金	288,425,333
(配 当 等 相 当 額)	(510,684,320)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△222,258,987)
繰 越 損 益 金	△266,167,189

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	510,684,320
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a + b + c + d)	510,684,320
(f) 1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	2,110.08
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

DIAMケイマン・ファンド ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション

円クラス／米ドルクラス／豪ドルクラス／メキシコペソクラス／トルコリラクラス／ブラジルリアルクラス

当ファンドは「みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー（通貨選択型）」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍円建て外国投資信託
主要投資対象	日本の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
投資態度	<ul style="list-style-type: none"> ①主として日本の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を目的として積極的な運用を行います。 ②景気動向、金融情勢等の調査に基づいたトップダウンアプローチにより、相場局面の判断を重視した運用を行います。 ③銘柄選定にあたっては、投資対象市場、株式規模および業種等を考慮し、値上がり期待の高い銘柄を選定します。 ④実質的な株式組入比率は高位に保ちますが、株式市場の下落リスクが高いと考えられる場合等には、株式の実質組入比率を50～100%の範囲で弾力的に引き下げることが出来ます。株式の実質組入比率の調整は、株価指数先物取引等のデリバティブ取引を活用することや、保有株式を売却して短期金融資産等を保有することで行います。 ⑤各クラス（円クラスを除きます。）において、円建て資産について、原則として、円売り／各クラス通貨買いの為替取引を行います。 ⑥資金動向、市況動向等により、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ①有価証券の空売りは行いません。 ②デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。 ③ファンドの純資産価額の10%を超える借入れは行いません。（ただし、合併等により一時的に10%を超える場合を除きます。） ④投資信託証券への投資は行いません。 ⑤流動性に欠ける資産への投資は、価格の透明性を確保する適切な措置が講じられない限り、ファンドの純資産の15%を超えないものとします。 ⑥金融商品取引法上の有価証券および有価証券関連デリバティブ取引への投資比率は信託財産総額の50%以上とします。
投資顧問会社	アセットマネジメントOne株式会社
為替管理会社	Asset Management One International Ltd.
受託銀行	CIBC Bank and Trust Company (Cayman) Limited
管理事務代行会社	State Street Cayman Trust Company, Limited
保管銀行	State Street Bank and Trust Company

D I A Mケイマン・ファンドー・ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクションはケイマン諸島籍外国投資信託で、2018年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2018年12月31日現在の財務諸表の原文の一部を抜粋・翻訳したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（ジャパニーズ・エクイティ・ファンド・カレンシー・セレクション）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

損益計算書
2018年12月31日終了の会計年度
（日本円建て）

	(円)
投資収益	
受取配当金（源泉徴収税16,035,640円控除後）	86,027,258
収益合計	86,027,258
費用	
投資運用報酬および準投資運用報酬	15,149,556
管理事務代行報酬	8,606,736
保管報酬	7,738,102
専門家報酬	3,949,576
受託者報酬	2,266,094
その他の費用	1,984,366
費用合計	39,694,430
正味投資利益	46,332,828
デリバティブ取引に係る正味実現損失	(869,951,790)
投資有価証券に係る正味実現利益	595,373,994
当期正味実現損失	(274,577,796)
デリバティブ取引に係る評価損の正味増減額	(18,613,440)
投資有価証券に係る評価損の正味増減額	(1,805,028,656)
外貨に係る評価益の正味増減額	805
当期末実現損失の正味増減額	(1,823,641,291)
運用による純資産の純減少額	(2,051,886,259)

	発行済受益権口数	1口当たり純資産価額（日本円）
クラスJ P Y	58,675.71	10,340.65
クラスU S D	236,957.54	10,397.06
クラスA U D	14,813.05	9,600.94
クラスM X N	11,174.70	8,106.85
クラスT R Y	319,307.90	4,237.64
クラスB R L	411,817.01	6,343.10

投資有価証券明細書
2018年12月31日現在
(日本円建て)

	株数	取得原価 (円)	時価 (円)	対純資産 (%)
普通株式				
日本				
素材				
Isihara Sangyo Kaisha Ltd	21,300	27,695,355	22,897,500	0.32%
Tokai Carbon Co Ltd	14,100	27,356,723	17,596,800	0.24%
Toray Industries Inc	71,400	65,286,039	55,120,800	0.76%
		120,338,117	95,615,100	1.32%
通信				
Bengo4.com Inc	37,600	114,415,294	118,064,000	1.62%
Istyle Inc	33,200	31,711,278	27,190,800	0.37%
Kitanotatsujin Corp	47,400	18,425,364	17,680,200	0.25%
RPA Holdings Inc	21,000	70,489,802	65,835,000	0.91%
SoftBank Corp.	7,100	67,745,705	51,865,500	0.71%
Uzabase Inc	100	196,199	166,000	0.00%
		302,983,642	280,801,500	3.86%
一般消費財、景気循環型				
Pan Pacific International Holdings Corp	15,800	73,913,565	107,756,000	1.48%
Fast Retailing Co Ltd	1,600	78,160,792	90,192,000	1.24%
Gremz Inc	5,200	9,936,361	7,238,400	0.10%
Gunze Ltd	6,300	33,351,332	26,176,500	0.36%
Honda Motor Co., Ltd.	7,700	29,568,508	22,287,650	0.31%
Isuzu Motors Ltd	22,100	40,239,129	34,221,850	0.47%
Izumi Co Ltd	1,600	11,430,241	8,176,000	0.11%
Koshidaka Holdings Co Ltd	36,800	54,005,380	48,502,400	0.67%
Matsuoka Corp	18,500	66,028,878	49,154,500	0.68%
McDonald's Holdings Co Japan Ltd	15,300	55,897,215	71,298,000	0.98%
Mitsubishi Corp	8,500	26,216,172	25,670,000	0.35%
Nitori Holdings Co Ltd	3,800	68,552,317	52,174,000	0.72%
Ryohin Keikaku Co Ltd	800	29,590,060	21,240,000	0.29%
Sony Corp.	30,700	171,840,813	163,508,200	2.25%
Toyota Industries Corp	6,400	46,850,039	32,576,000	0.45%
Workman Co Ltd	5,600	39,473,025	40,936,000	0.56%
Yamaha Motor Co Ltd	5,400	16,074,518	11,658,600	0.16%
		851,128,345	812,766,100	11.18%

	株数	取得原価 (円)	時価 (円)	対純資産 (%)
普通株式				
日本 (つづき)				
一般消費財、生活必需品				
Asahi Group Holdings Ltd	5,700	32,499,929	24,333,300	0.34%
Asahi Intecc Co., Ltd.	31,400	72,027,531	145,696,000	2.00%
Daiichi Sankyo Co Ltd	22,800	60,816,277	80,050,800	1.10%
Eisai Co Ltd	12,800	86,005,710	108,825,600	1.50%
Fuji Oil Holdings Inc	24,600	91,097,614	86,346,000	1.19%
GMO Payment Gateway Inc	7,300	29,925,378	34,164,000	0.47%
JCR Pharmaceuticals Co Ltd	7,300	38,201,681	33,981,500	0.47%
Kao Corp	7,300	59,250,110	59,524,200	0.83%
Kirin Holdings Co Ltd	12,800	37,485,482	29,420,800	0.40%
Lacto Japan Co Ltd	15,700	82,989,996	108,801,000	1.50%
MEIJI Holdings Co Ltd	15,000	134,081,702	134,400,000	1.85%
Paramount Bed Holdings Co Ltd	9,100	47,563,048	41,450,500	0.57%
PeptiDream Inc.	15,800	60,862,315	68,572,000	0.94%
Riso Kyoiku Co Ltd	253,300	99,602,412	115,758,100	1.59%
SanBio Co Ltd	11,300	54,225,510	91,643,000	1.26%
Seven & i Holdings Co Ltd	22,300	109,250,846	106,660,900	1.47%
Shiseido Co Ltd	4,900	31,991,805	33,770,800	0.46%
Terumo Corp	4,300	19,022,915	26,763,200	0.37%
Yakult Honsha Co Ltd	12,800	110,543,627	98,816,000	1.35%
		<u>1,257,443,888</u>	<u>1,428,977,700</u>	<u>19.66%</u>
エネルギー				
Idemitsu Kosan Co Ltd	1,200	5,911,719	4,332,000	0.06%
Inpex Corp.	9,700	13,675,319	9,522,490	0.13%
		<u>19,587,038</u>	<u>13,854,490</u>	<u>0.19%</u>
金融				
Dai-ichi Life Holdings Inc	18,100	40,973,250	31,095,800	0.43%
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc.	148,200	107,381,535	79,716,780	1.10%
Mitsui Fudosan Co Ltd	14,400	40,831,228	35,208,000	0.48%
Money Forward Inc	100	468,639	337,500	0.00%
ORIX Corp	35,000	63,992,742	56,192,500	0.77%
Premium Group Co Ltd	100	331,177	300,000	0.00%
Resona Holdings Inc	47,600	30,785,114	25,166,120	0.35%
SBI Holdings Inc/Japan	6,200	15,868,825	13,385,800	0.18%
Seven Bank Ltd	161,300	55,874,540	50,648,200	0.70%
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc.	15,700	71,147,282	57,226,500	0.79%
Sumitomo Mitsui Trust Holdings Inc.	5,500	23,591,486	22,121,000	0.30%
Sumitomo Realty & Development Co Ltd	7,200	29,855,795	28,987,200	0.40%
Tokio Marine Holdings Inc.	11,800	65,253,710	61,784,800	0.85%
Tokyu Fudosan Holdings Corp	157,700	102,908,647	85,473,400	1.18%
		<u>649,263,970</u>	<u>547,643,600</u>	<u>7.53%</u>

	株数	取得原価 (円)	時価 (円)	対純資産 (%)
普通株式				
日本 (つづき)				
資本財・サービス				
Anritsu Corp	9,600	13,807,177	14,649,600	0.21%
Asia Pile Holdings Corp	52,000	34,753,645	33,020,000	0.45%
Central Glass Co Ltd	20,500	56,250,099	44,403,000	0.61%
Central Japan Railway Co	5,200	103,510,634	120,458,000	1.66%
Daifuku Co Ltd	2,500	8,370,542	12,550,000	0.17%
Daikin Industries Ltd	5,600	74,175,567	65,492,000	0.90%
Fuji Electric Co Ltd	19,400	65,939,653	62,953,000	0.87%
Hioki EE Corp	19,100	70,663,026	68,664,500	0.94%
Hitachi Ltd	19,900	83,364,686	58,416,450	0.80%
Iriso Electronics Co., Ltd.	9,100	48,446,695	37,037,000	0.51%
Juki Corp	52,300	80,487,637	58,209,900	0.80%
Katitas Co Ltd	50,700	149,789,040	131,667,900	1.81%
Komatsu Ltd.	10,300	36,601,735	24,364,650	0.35%
Kyowa Exeo Corp	18,800	53,707,857	48,466,400	0.67%
Mitsui OSK Lines Ltd	1,800	5,603,111	4,318,200	0.06%
Murata Manufacturing Co Ltd	3,000	57,604,930	44,865,000	0.62%
Nankai Electric Railway Co Ltd	21,900	65,526,645	63,597,600	0.87%
Nidec Corp.	3,800	43,084,828	47,405,000	0.65%
OSJB Holdings Corp	164,300	51,925,944	46,989,800	0.65%
Penta-Ocean Construction Co., Ltd.	116,300	72,245,531	70,826,700	0.97%
Seibu Holdings Inc	63,200	128,915,653	120,964,800	1.66%
SG Holdings Co Ltd	37,800	106,463,331	108,259,200	1.49%
Shimizu Corp	57,600	54,787,748	51,552,000	0.71%
Taisei Corp	11,100	56,232,900	52,225,500	0.71%
Ultrafabrics Holdings Co Ltd	10,200	24,875,229	24,633,000	0.34%
West Japan Railway Co	12,100	96,189,167	93,908,100	1.29%
Yamashin-Filter Corp	22,100	28,375,134	13,967,200	0.19%
Yamato Holdings Co Ltd	38,600	117,773,807	116,726,400	1.61%
Yaskawa Electric Corp	2,300	11,086,170	6,205,400	0.09%
Yokogawa Bridge Holdings Corp	20,900	38,616,087	34,108,800	0.47%
		<u>1,839,174,208</u>	<u>1,680,905,100</u>	<u>23.13%</u>
テクノロジー				
Akatsuki Inc	21,300	117,342,941	107,565,000	1.48%
Capcom Co Ltd	13,600	28,214,637	29,539,200	0.41%
Change Inc	9,900	27,004,113	38,362,500	0.53%
Nihon Unisys Ltd	17,600	51,779,655	43,137,600	0.60%
Ricoh Co Ltd	50,100	59,669,212	53,957,700	0.74%
Rohm Co Ltd	2,500	26,919,893	17,600,000	0.24%
Signpost Corp	37,700	139,563,087	140,621,000	1.93%
Sprix Ltd	17,600	33,109,364	32,102,400	0.44%
Square Enix Holdings Co Ltd	44,800	173,084,242	133,817,600	1.84%
TDK Corp	1,100	10,901,710	8,492,000	0.12%
TIS Inc	14,100	63,093,924	60,982,500	0.84%
		<u>730,682,778</u>	<u>666,177,500</u>	<u>9.17%</u>
公益事業				
Tokyo Gas Co Ltd	48,700	140,260,883	135,653,850	1.86%
		<u>140,260,883</u>	<u>135,653,850</u>	<u>1.86%</u>
日本合計				
		<u>5,910,862,869</u>	<u>5,662,394,940</u>	<u>77.90%</u>
普通株式合計				
		<u>5,910,862,869</u>	<u>5,662,394,940</u>	<u>77.90%</u>
投資有価証券合計				
		<u>5,910,862,869</u>	<u>5,662,394,940</u>	<u>77.90%</u>

先物契約：

2018年12月31日現在、当ファンドの先物契約建玉は以下のとおりです。

取引相手		満期日	契約数	想定元本 (円)	売買	正味評価益/ (評価損) (円)
Goldman Sachs	東証株価指数 (TOPIX) 先物取引	2019年3月7日	35	522,725,000	買建	(19,445,000)

DIAMマネーマザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2019年4月5日）

（計算期間 2018年4月6日～2019年4月5日）

DIAMマネーマザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
6期(2015年4月6日)	10,090	0.1	82.8	—	—	百万円 9,524
7期(2016年4月5日)	10,098	0.1	80.6	—	—	3,158
8期(2017年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	1,045
9期(2018年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

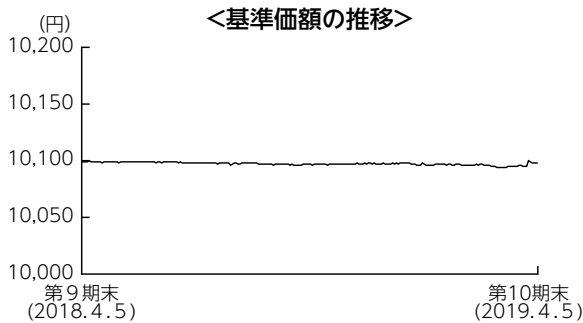
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2018年 4 月 5 日	10,099	% -		% 71.1		% -	% -
4 月 末	10,099	0.0		71.0		-	-
5 月 末	10,099	0.0		73.6		-	-
6 月 末	10,098	△0.0		72.2		-	-
7 月 末	10,098	△0.0		72.2		-	-
8 月 末	10,097	△0.0		88.4		-	-
9 月 末	10,097	△0.0		79.1		-	-
10 月 末	10,097	△0.0		77.9		-	-
11 月 末	10,097	△0.0		78.2		-	-
12 月 末	10,096	△0.0		71.4		-	-
2019年 1 月 末	10,097	△0.0		71.4		-	-
2 月 末	10,095	△0.0		71.4		-	-
3 月 末	10,100	0.0		79.4		-	-
(期 末) 2019年 4 月 5 日	10,098	△0.0		79.4		-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2018年4月6日から2019年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,098円となり、前期末比で0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

日銀のマイナス金利政策によってコールローンがマイナス利回りとなっているため、その影響を受けて基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね△0.3%～△0.1%台で推移しました。米国が

金融政策正常化のペースを落としたことや国債市場の需給要因から一時的に利回りが低下する局面もありましたが、米国や中国の景気が市場の見方ほど悪くないのではないかとの見通しが強まったことから期末にかけて利回りは上昇し、期を通して見るとレンジ内での推移となりました。

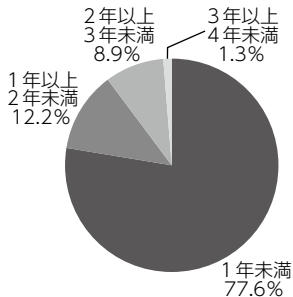
ポートフォリオについて

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

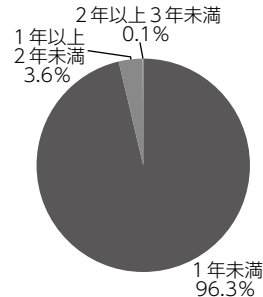
【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比

期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、国債や政府保証債、地方債などを中心に運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合 計	0	0.000

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(10,097円)で除して100を乗じたものです。なお、(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数です。その他は、信託事務の処理に要する諸費用等です。

■ 売買及び取引の状況 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国 債 証 券	12,636,104	(-)
	地 方 債 証 券	40,605	(34,950)
	特 殊 債 券	-	200,019 (329,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 12,676	百万円 202	% 1.6	百万円 200	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	12,600,000	12,631,008	78.1	—	—	—	78.1
地 方 債 証 券	135,830	136,409	0.8	0.6	—	—	0.8
特 殊 債 券	66,000	67,019	0.4	—	—	0.1	0.4
合 計	12,801,830	12,834,437	79.4	0.6	—	0.1	79.3

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
3 0 1 回 利付国庫債券（10年）	1.5000	200,000	200,658	2019/06/20
1 2 3 回 利付国庫債券（5年）	0.1000	12,000,000	12,029,040	2020/03/20
3 8 8 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,281	2020/05/15
3 9 1 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,672	2020/08/01
3 9 2 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,357	2020/09/01
小 計	—	12,600,000	12,631,008	—
(地方債証券)	%	千円	千円	
2 6 年 度 4 回 静岡県公募公債	0.2090	14,810	14,816	2019/06/24
2 6 年 度 1 回 大阪市みおつくし債	0.2200	6,000	5,999	2019/06/27
2 1 年 度 6 回 愛知県公募公債	1.4400	10,000	10,045	2019/07/30
2 6 年 度 京都市京都みらい債	0.1600	9,200	9,194	2019/09/02
3 3 1 回 大阪府公募公債	1.4100	10,000	10,078	2019/10/29
2 6 年 度 7 回 福岡県公募公債	0.2000	6,500	6,495	2019/12/25
2 1 年 度 3 5 回 兵庫県公募公債	1.4600	40,000	40,457	2020/01/22
4 3 回 川崎市公募公債 5年	0.1370	10,850	10,863	2020/03/19
2 7 年 度 2 回 千葉県公募公債	0.1770	14,670	14,697	2020/05/25
2 7 年 度 京都市京都みらい債	0.1000	13,800	13,762	2020/09/02
小 計	—	135,830	136,409	—
(特殊債券)	%	千円	千円	
8 9 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	4,000	4,026	2019/09/30
9 3 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	8,000	8,075	2019/11/29

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券)		%	千円	千円	
1 0 0 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	9,000	9,117	2020/02/28
1 1 2 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.1000	30,000	30,455	2020/07/31
1 1 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	6,000	6,093	2020/09/30
1 3 3 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,139	2021/04/30
1 3 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,111	2021/06/30
小	計	—	66,000	67,019	—
合	計	—	12,801,830	12,834,437	—

■投資信託財産の構成

2019年4月5日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円		%
12,834,437		79.4	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,332,745		20.6
投 資 信 託 財 産 総 額	16,167,183		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	16,167,183,546円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,330,773,596
公 社 債(評価額)	12,834,437,613
未 収 利 息	1,577,825
前 払 費 用	394,512
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	16,167,183,546
元 本	16,010,803,187
次 期 繰 越 損 益 金	156,380,359
(D) 受 益 権 総 口 数	16,010,803,187口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,098円

■損益の状況

当期 自2018年4月6日 至2019年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,929,090円
受 取 利 息	7,285,281
支 払 利 息	△356,191
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,516,322
売 買 損 益	73,746
売 買 損 益	△10,590,068
(C) そ の 他 費 用	△279
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△3,587,511
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,082,629
(F) 解 約 差 損 益 金	△48,033
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	149,933,274
(H) 合 計(D+E+F+G)	156,380,359
次 期 繰 越 損 益 金(H)	156,380,359

(注1) 期首元本額 1,020,388,428円
追加設定元本額 14,995,366,726円
一部解約元本額 4,951,967円

(注2) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
ダイナミック・ナビゲーション	98,710円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<円コース>	1,281,836円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<豪ドルコース>	246,797円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<ブラジルレアルコース>	1,689,581円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)<中国元コース>	654,944円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資源通貨バスケットコース	4,486,988円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
DIAM 米国リート・インカムプラス	994,728円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース(為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース(為替ヘッジなし)	1,987,479円
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド(年1回決算型)ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド(年1回決算型)ヘッジなし	9,924円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジあり>	9,909円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジなし>	9,909円
マッシュューズ・アジア株式ファンド	99,019,705円
One世界分散セレクト(Aコース)	99,040円
One世界分散セレクト(Bコース)	99,040円
One世界分散セレクト(Cコース)	99,040円
リスクコントロール型ETF分散投資ファンド(適格機関投資家限定)	39,612,786円
USD/JPYダイナミックヘッジ戦略ファンド-2019(適格機関投資家限定)	14,851,485,149円
期末元本合計	16,010,803,187円

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。